

# 2022 まちづくりアドバイザー活動事例集

【はじめに・・・まちづくりアドバイザーがチームとして大切にしていること】	0
【北 区】	(担当：田尾 純子)
北区まちづくりプラットフォームの構築	1
北区民ふれあい事業 ニコニコ北っ子「北区こどものまち」	1
【上 京 区】	(担当：亀村 佳都)
上京区まちづくり円卓会議・拡大会議「上京！MOW(もう)」	2
「立売」で育む地域の絆と地産地消推進プロジェクト	2
【左 京 区】	(担当：吉田 泰基)
左京北部山間地域の活性化	3
まちづくりネットワーク形成事業	3
【中 京 区】	(担当：松井 朋子)
第3期中京区基本計画を推進！中京みらい図鑑 第一弾	4
まちづくり活動に関する相談対応とコーディネート	4
【東 山 区】	(担当：天岡 昌代)
住んでこそ！東山プロジェクト	5
「地域における子育て支援ワークショップ」	5
【山 科 区】	(担当：谷 亮治)
山科“きずな”支援事業	6
「明日の山科を考える」ワーキンググループ「ちょいなか山科」	6
【下 京 区】	(担当：浅田 真実)
下京区まちづくりサポート事業『SHIMOGYO+GOOD』	7
下京地域情報サイト 市民レポーター講座	7

【南 区】	(担当：加藤 ゆうこ)	
区民応援事業が地域に認知されていくための伴走支援		8
区民のおうち時間のためのラジオ体操動画制作への協力		8
【右 京 区】	(担当：佐藤 友一)	
右京コトハジメテラス		9
京都京北未来かがやきビジョン推進会議のワークショップ		9
【西 京 区】	(担当：西原 秀倫)	
未来の西京まち結び～みらまち結び～		10
西京区の魅力と文化の発信		10
【西京区洛西支所】	(担当：木村 響子)	
UR団地の地域医療福祉拠点化の推進		11
らくさい魅力発信Channel		11
【伏 見 区】	(担当：朝倉 眞一)	
伏見港パートナー制度の運営		12
伏見区区民活動支援事業		12
【伏見区深草支所】	(担当：大塚 敏之)	
深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト		13
深草いいトコ体感プロジェクト		13
【伏見区醍醐支所】	(担当：山田 大地)	
だいきdeワイワイ井戸端会議		14
伏見区区民活動支援事業サポート		14
【地域コミュニティサポートセンター】	(担当：小林 明音)	
地域コミュニティ活性化ビジョンの推進		15

## 【はじめに・・・まちづくりアドバイザーがチームとして大切にしていること】

まちづくりアドバイザー（以下、まちアド）は、全15名のチームでお仕事をさせていただいています。個々のまちアドが各区で取り組んだ活動の紹介に入る前に、本ページでは、私たちまちアドがチームとして特に大切にしていることを、4点にまとめて記します。

### 1. まちづくりや市民活動について時勢にあった情報を取り入れ実践する

【概要】各区の、その時々々の時勢において生じるニーズにこたえるために、担当区だけでなく、他区や、他の自治体の取組事例を集め、取り入れることを大切にしています。

例えば近年では、コロナ禍において、会議やワークショップのオンライン化に関するニーズが高まっているので、オンライン会議の手法をいち早く取り入れ、実践してきました。

### 2. チームとして地域の情報を共有し、検討し合う

【概要】まちアドは一人一人で仕事を完結するのではなく、チームとしてお互いの強みを持ち寄ることを大切にしています。例えば各区に主・副担当をつけるバディ制を採用しています。また、まちアド同士の情報共有の場である「まちアドミーティング」を実施しています（月2回）。この中でまちづくりや市民活動の事例を持ち寄って議論をしたり、区・支所や他局からの相談を合同で聞いて意見交換したりしています。

加えて、令和元年度からは、区役所の職員の方も参加する地域コミュニティに関する勉強会、「地コミまちアドミーティング」を開催しています。

### 3. 各区役所・支所の取り組みを互いに応援し合う

【概要】各区に担当のアドバイザーがいるという強みを生かし、それぞれの区役所・支所が行うカフェ事業、区長懇、基本計画策定に係る会議など、ワークショップや事業スタートの応援要請に対してお互いに協力しあうことを大切にしています。マンパワーとして支援するのはもちろんのこと、そこで得た気づきを各区役所・支所での取り組みにフィードバックしていけるよう努めています。

### 4. 区の現場の声を持ち帰り、政策に活かす

【概要】まちアドは、各区の現場に関わらせていただきながらも、所属は本庁の地域自治推進室にあります。その中間的な立場を活かし、各区の現場での取り組みに関わらせていただくだけでなく、その過程でお聞きした、区役所職員や地域の方々の声を持ち帰り、情報を集約して地域コミュニティ政策に反映していくことを大切にしています。

以上の4点が、私たちまちアドがチームとして特に大切にしていることです。次ページからは、それぞれのまちアドが各区で関わらせていただいた区の取り組みについて事例をご報告いたします。

## 北区まちづくりプラットフォームの構築

### 【事業概要】

北区では、令和3年8月に策定した基本計画を進めるため、オンラインを中心とした「北区まちづくりプラットフォーム」を構築します。

このプラットフォームは、北区の人や情報が交わり、“つながり”の力を高め合うことを目的に「交流を促進するオンラインワークショップ（SALON）」「まちの魅力をつなぐポータルサイト（MEDIA）」「気軽に困りごとを共有し合うチャットルーム（CHAT）」で構成します。



### 【役割/関わり方】

#### 事業の企画・運営の支援

- 事業全体についてのアドバイスや情報提供を行いました。
- オンラインツールに関する情報収集を行い、共有しました。
- 事業委託の公募に向けた準備に対して、アドバイスや支援を行いました。

## 北区民ふれあい事業 ニコニコ北っ子「北区こどものまち」

### 【事業概要】

北区では、平成28年から、子どもたちがまちの仕組みを考えるなかでまちづくりの楽しさなどを体感できる「北区こどものまち」を実施してきました。コロナ禍の令和2年度は、遊びながらまちの賑わいづくりを体験できるボードゲームを制作しました。

令和3年度は完成したゲームを広めるため、地域のイベントでの体験会などを実施し、延べ約50人の子どもたちに体験してもらうことができました。



### 【役割/関わり方】

#### 事業の企画・運営の支援

- ゲームを広める展開の企画・運営にあたり、アドバイスや支援を行いました。
- 大学や青少年活動センター等の協力機関へのコーディネートを行いました。
- 体験会当日、ゲームの説明・進行役を担当しました。

この事業を担当したアドバイザー 田尾 純子

## 【上京区】

### 上京区まちづくり円卓会議・<sup>もう</sup>拡大会議「上京！MOW」

#### 【事業概要】

上京区では、地域で様々な活動をしている人や団体をつなぎ、幅広く意見を行う場として、「上京！MOW」を開催しています。今回は、今年度策定された「上京区基本計画 2025」に掲げられた4つの将来像を基に、グループに分かれ、地域課題解決のために、参加者が地域でやりたいアイデアや活動について、意見交換が行われました。



#### 【役割／関わり方】

##### 事業の企画・運営支援

- ワークショッププログラムへの助言
- 準備から当日までのスケジュールの確認
- 市民協働ファシリテーターへの協力呼びかけと連絡調整
- 当日意見交換会における進行
- 意見交換会でのグループごとの意見の取りまとめ作成

### 「立売」で育む地域の絆と地産地消推進プロジェクト

#### 【事業概要】

上京区内でかつて行われていた「立売」に習い、地域や関係機関等が連携し、区内や近郊で採れた農林水産物を販売するマルシェを開き、住民同士の交流の場、環境保全やエシカル消費等について学ぶ機会を作ります。今年度は、正親学区にて、せいしん「立売」・コミュニティ彩マルシェを開催。親子で買い物を楽しみ、ご近所さん同士の会話がはずむ様子が伺えました。



#### 【役割／関わり方】

##### 事業の企画・運営支援

- 主催団体との会議における助言
- 来場者の対応、野菜販売ブースの運営支援
- カミングHPにおける事業報告と市民への周知

この事業を担当したアドバイザー 亀村 佳都

## 左京北部山間地域の活性化

### 【事業概要】

左京北部山間地域（久多・広河原・花背・別所・大原百井）では、過疎化等による集落の維持や文化の継承などが危ぶまれており、左京区基本計画（第3期）において、課題や方向性のさらなる検討と地域活性化の推進が掲げられています。



左京北部山間地域の魅力を発信すべく、今年度も『左京キラリ市』が左京区役所で開催され、多くの来場者で賑わいました。また、インスタグラム等でも豊かな自然や伝統文化行事等を発信するとともに、区内商業施設でも写真展などを開催しました。

### 【役割／関わり方】

#### 地域活性化の取り組みに向けたトータルサポート

- 「魅力発信検討会議」の出席及び助言
- 『左京キラリ市』ほか、各種魅力発信事業の企画及び運営支援
- 地域イベント及び地域特産品のPR及びコーディネート支援
- 左京区北部山間地域の「関係人口リスト」の作成及び人材コーディネート
- 「地域コミュニティの担い手調査（広河原地域）」の実施・分析

## まちづくりネットワーク形成事業

### 【事業概要】

左京区には自主的にまちづくり活動をされる団体等やそれらを支える事業者、大学等が数多くあり、持続可能なまちづくり活動を行うためには、自立的なまちづくり活動団体同士のネットワークを形成することが求められています。

今年度は、多様な主体がそれぞれの強みを生かして連携・協働し、地域課題の解決を図るしくみを来年度から本格的に推進すべく、事業の仕組みづくりについて検討段階から企画の構築を図りました。さらに、そのキックオフイベントとなる『左京まちづくり交流会』を開催し、区内のまちづくり活動団体や事業者等がそれぞれの活動を報告し、多様な交流を図りました。



### 【役割／関わり方】

#### 事業全体の企画支援

- 事業企画の構築に向けたプランニング支援
- 他区の事例調査及び関係機関と連携のしくみの検討
- 『左京まちづくり交流会』開催に向けた企画及び運営支援

この事業を担当したアドバイザー 吉田 泰基

## 【中京区】

### 第3期中京区基本計画を推進！中京みらい図鑑 第一弾

#### 【事業概要】

第3期中京区基本計画の目標実現について、広く区民のみなさんと共有し一緒に取り組んでいくためのシンポジウムやワークショップを実施する事業の第一弾。まちづくり戦略7「持続可能なライフスタイルの継承・発展」について、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、実践者の皆さんの活動紹介インタビュー，企画会議メンバーとのトークセッション等を動画に収録し，区役所のHP上で組み合わせてシンポジウムのような場に仕上げました。



<https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/page/0000289370.html>

#### 【役割／関わり方】

##### 企画，インタビュー，動画作成，トークセッションの進行等

- リアルで開催できない中，オンデマンドでシンポジウムを実践するアイデア提供
- テーマにあった実践者の人選とインタビュー
- 動画の収録，Zoom画面操作
- トークセッションの進行

### まちづくり活動に関する相談対応とコーディネート

#### 【事業概要】

区役所のまちづくり推進担当に席を置いています。団体，事業者，自治会・自治連合会等からの相談に同席し，まちアド視点での情報提供，提案，他団体等へのコーディネートを行います。知り合った団体からは情報提供いただくことがあり，現場へ視察に行くこともあります。日常的に職員と会話し，その中で情報提供や事業のブレストのお手伝いをした結果，次年度の新規事業につながったものもあります。



#### 【役割／関わり方】

##### 団体，自治会・学区，職員の相談対応，情報提供，提案，コーディネート等

- 団体，自治会・学区等の相談に職員とともに同席し，情報（資料）提供
- 繋がった団体，自治会・学区の現場へ視察，戻ってから職員に情報共有
- 職員の相談対応，団体・他区・他都市等の事例紹介，情報提供，コーディネート
- 職員との日常的な会話の中で，情報提供，ブレスト
- 新規事業立ち上げの企画立案補助 等

この事業を担当したアドバイザー 松井 朋子

## 【東山区】

### 住んでこそ！東山プロジェクト

#### 【事業概要】

第3期東山区基本計画に掲げる「人口減少に立ち向かう取組の展開」、『住んでこそ！東山プロジェクト』を進めるにあたって、東山区の独自性を盛り込みつつ、地域力推進室や保健福祉センターと連携しながら取り組む。

本年度は、東山区の基本的なデータ収集と分析。東山区役所の「庁内検討会」による東山区の人口増加に向けての検討会企画立案と運営。区内事業者を中心にした



「住んでこそ！東山アイデアソン（仮称）」を開催し、次年度の本格的なプロジェクトの稼働に向けて事業者同士のつながりづくり、アイデア創出の場づくりを行う。

#### 【役割／関わり方】

##### プログラムの企画、運営支援

- 庁内検討会の計画案の作成。企画立案までの運営補助。  
チームの個別指導。講師の提案
- アイデアソンの立案、運営。アイデアソン参加者の人選

### 「地域における子育て支援ワークショップ」

#### 【事業概要】

子どもはぐくみ室では、東山区民生児童委員会等と協力し、赤ちゃんが誕生した家庭へ地域の主任児童委員が地域からのお祝いの品を届ける、「東山はぐくみハッピーギフト」の取組を、令和2年9月から実施している。より多くの家庭にギフトを届けることで、子育て家庭と地域のつながりを強化し、子育てしやすいまちづくりを推進している。



その取組をより効果的に行うために、主任児童委員、関係機関、子育て中の当事者等が参加する「地域における子育て支援ワークショップ」を開催し、主任児童委員の仕事や役割をわかりやすく紹介するチラシを主任児童委員自らが作成することを目的に、日頃の活動の情報交換や記載内容等について意見を出しあった。

#### 【役割／関わり方】

##### 事業の企画支援・運営支援（「東山はぐくみハッピーギフト」）

- ハッピーギフトのチラシ作成についての意見交換
- 子育て支援ワークショップの立案と当日の運営

この事業を担当したアドバイザー 天岡 昌代

## 【山科区】

### 山科“きずな”支援事業

#### 【事業概要】

山科区では、区民の皆様の主体的なまちづくりを支援するため、地域団体、NPO法人、大学等が自発的・自主的に企画、運営される事業に対し、必要とする経費の一部を補助する「山科“きずな”支援事業」を実施しています。

今年度は、子ども食堂や、高齢者と小学生の交流事業、公営団地のコミュニティ再生事業など、計8団体の取組を採択し、支援してきました。



#### 【役割／関わり方】

##### “きずな”支援事業採択団体の事業運営にかかる一連のサポート

- 申請団体の事前面談
- 採択後の相談対応
- 取材記事作成による広報支援
- 関係団体とのコーディネート

### 「明日の山科を考える」ワーキンググループ「ちょいなか山科」

#### 【事業概要】

山科区自治連合会連絡協議会では、総会「明日の山科を考える」において、山科区13学区で地域活動をされている方々と山科区役所が山科区の課題を一緒に考え、解決していくための活動をしています。

その中のワーキンググループ「ちょいなか山科」では、山科への移住促進を目的とする活動を行っています。今年度は地域のPRを目的とした動画を作成し、動画サイトに投稿する活動を行っています。



#### 【役割／関わり方】

##### 会議の運営にかかる一連のサポート

- 企画の立案にかかるサポート
- 動画撮影および動画サイトへの投稿に関する助言
- 会の運営に関する助言

この事業を担当したアドバイザー 谷 亮治

## 【下京区】

### 下京区まちづくりサポート事業『SHIMOGYO+GOOD』

#### 【事業概要】

下京区では、平成24年度から下京をより暮らしやすく、安全で、魅力的なまちにすることを目的に、区民等が地域力をいかして主体的に行う活動を支援し、「参加と協働」による下京区基本計画の推進を図る「下京区まちづくりサポート事業」を実施しています。今年度は、新規事業16件を含む23件を採択事業として決定し、支援してきました。



#### 【役割／関わり方】

団体への申請支援から、審査会・交流会の企画・運営までの全般サポート

- 申請相談の対応，個別団体支援
- 交流会の企画，プログラム構成などに関する助言，当日ファシリテーション
- 交流会以降のマッチング支援，活動視察と発信支援

### 下京地域情報サイト 市民レポーター講座

#### 【事業概要】

今年度、下京区では、区内の学区や各種団体の皆さんから地域に密着した情報を発信いただき、地域コミュニティの活性化を図るウェブサイト「下京地域情報サイト」を立ち上げました。それに際して、まちづくりの取組や地域の人々が誇りに思うスポット等を紹介する市民ボランティアレポーターを養成する講座を、京都市下京いきいき市民活動センターの皆さんにご協力いただき、実施しました。



#### 【役割／関わり方】

市民レポーター講座の企画運営サポートとコーディネート

- 企画全体への情報提供やアドバイス
- 協力機関との調整・コーディネート
- 講師とのマッチング
- 講座プログラム作成サポート・当日の司会進行サポート

下京区担当アドバイザー 浅田 真実

## 【南区】

### 区民応援事業が地域に認知されていくための伴走支援

#### 【事業概要】

今年度の区民応援事業（まちづくり支援事業）の採択事業は、活動に参加する区民の条件が限定的で、活動の意図が伝わりにくいことが共通の課題でした。そこで、分野の専門性と地域への理解・協力のバランスに留意し、参加者（サービスの対象者）と主催者・複数の協力者などから多様な声を聴き、地域内外への理解を深めていくための方策について話し合っていました。



#### 【役割／関わり方】

届けたい人に届けるだけでなく、地域理解の促進を促す立場からの助言

- 応募前の事前相談における、事業の地域理解についての質問の実施
- 活動の現地視察と、主催者以外の立場も含めた意見聴取
- 今後理解者を増やしていくための、地域でのネットワークづくりについて、主催者や協力者らとの複数の対話の実施

### 区民のおうち時間のためのラジオ体操動画制作への協力

#### 【事業概要】

多くの区民が集まる機会が減る中でも健康への取り組みを進めてほしいと、健康長寿推進課ではラジオ体操動画を制作することになり、地域力推進室企画担当と共に協力しました。以前からラジオ体操を行っていた団体に加え、多様な世代や立場の方々に出演してもらい、全体として南区の多様な魅力も伝える動画となるよう、関係者のコーディネート等に協力しました。



#### 【役割／関わり方】

多様な方々と連携できることを目指した新しい関係づくりへの協力

- 企画会議への調整と参加、アイデア出し等の進行への協力
- 団体の推薦に関する資料収集と情報提供
- 動画撮影現場への同行と撮影への協力
- 編集段階での相談対応と、出演者以外の学生団体等協力者とのコーディネート

この事業を担当したアドバイザー 加藤 ゆうこ

### 右京コトハジメテラス

#### 【事業概要】

令和3年度に作成した右京区基本計画では、ひとりひとりが「こうなったらいいな」という未来のイメージを描いてそれを語り合うことで、「わたしたち」の未来が見えてくるという道筋を示しています。右京コトハジメテラスでは、その思考方法を実践し、ひとりひとりが未来についてのイメージを整理し、それに近づくためにどんな一歩を踏み出すか考えることをサポートしてきました。



#### 【役割／関わり方】

##### プログラム案検討や実施におけるサポート

- 目的達成のために適切なプログラムとなるようアドバイス
- 当日のプログラムにおける全体進行を担当。年度前半は大部分がオンライン開催となり Zoom での進行となった。年度後半は専門家によるワークへの導入や参加者の感想共有等を担当

### 京都京北未来かがやきビジョン推進会議のワークショップ

#### 【事業概要】

京北地域では「京都京北未来かがやきビジョン」をもとに、住民自ら将来について考え、何に取り組むかについて話し合ってきました。ワークショップは、参加者がそれぞれの活動について情報交換し、それがお互いの刺激となり、新たな活動やアイデアの芽が生まれることを期待して開催しています。また、それらの芽を育てるために、テーマや課題別の意見交換会も開催しています。



#### 【役割／関わり方】

##### 事業の枠組みや進め方へのアドバイス、ワークショップ等の企画運営のサポート

- 事業目的に対して適切なプログラムとなるようアドバイス
- ワorkshop全体のプロセス構成、各回のプログラム検討
- 当日のファシリテーションなど運営面でのサポート
- 生み出された活動やアイデアの芽の育てかたについてのアドバイス

この事業を担当したアドバイザー 佐藤友一

## 【西京区】

### 未来の西京まち結び～みらまち結び～

#### 【事業概要】

西京区役所では、西京のまちを元気にしたい方、西京区の魅力をもっとみんなに伝えたい方、自分の好きをまちづくりや仕事に活かしたい方を結び、やりたいことの実現を応援する「未来の西京まち結び」を実施しました。今年度は“西京区で自分を活かして生きる！”をテーマに、自分の在り方や未来を考える「みらまちオンラインスタートアップ塾」を全3回開催。個々の学びを深めるとともに、まちづくり活動に関心のある方々の出会いや交流を生みました。



#### 【役割／関わり方】

まちづくり活動に前向きな参加者の、学びや交流を促せるよう応援しました。

- 区内の多様な人材と関わりを持ち、事業や広報の拡がりを生みました。
- 参加者に伴走し、活動に関する助言や参加者間の交流を促しました。
- 交流会の企画や来年度に向けた事業の構想など、持続的なつながりの機会づくりをサポートしました。

### 西京区の魅力と文化の発信

#### 【事業概要】

西京区の多様な魅力と文化の更なる発信を行うことを目的に、西京区内で様々な活動を行う団体とボランティアやサークル活動に関心のある区民をつなぐ「にしきょう・ねっと」。活動団体の魅力がより多くの区民に届くことを目指して、掲載内容やデザインなどのリニューアルを行いました。また、活動団体間の交流促進や、区内の様々な情報媒体との連携を図るなど、まちづくり活動の活性化を促進することで、にしきょう・ねっとに情報が集積し、メディアとしての価値を高める仕組みづくりも進めています。



#### 【役割／関わり方】

まちづくり活動団体の魅力が、より多くの区民に届くよう応援しました。

- 多くの区民が関心を持てるような編集を支援しました。
- 活動団体や関係機関との、ネットワークづくりをサポートしました。
- まちづくり活動の情報源として充実するための、仕組みづくりを進めました。

この事業を担当したアドバイザー 西原 秀倫

## 【西京区洛西支所】

### UR団地の地域医療福祉拠点化の推進

#### 【事業概要】

UR都市機構と洛西支所とは、令和2年度より、洛西ニュータウン内のUR賃貸住宅における「[地域医療福祉拠点化](#)」を進めている。市内でも高齢化率の高い洛西ニュータウンにおいて、UR団地を地域の資源として活用し、サービスの整備等を推進していくために、UR都市機構と洛西支所が共同で、「[洛西ニュータウンウォーキングマップ](#)（[境谷・竹の里コース](#)）」を制作した。このマップを活用し、ボランティア団体等と連携したウォーキングイベントの開催などを通じて、地域の魅力を知る人を増やし、フレイル予防につなげていく。



#### 【役割／関わり方】

洛西ニュータウンウォーキングマップ作成に関わる調査、助言

- ウォーキングコースに関わる現地調査、助言
- マップ裏面の内容検討や他都市の事例収集

### らくさい魅力発信 Channel

#### 【事業概要】

洛西支所では、西山・洛西地域の情報発信を目的として、令和元年度から、「[ええやん洛西](#)」Instagramフォトコンテストを実施している。令和3年度は、新たに近隣都市との連携や、若者の参画を促す仕組みづくりにも取り組んだ。その結果、1800件を超える応募があった。各種寺社・仏閣、自然風景等に加え、生活者の視点からの暮らしの投稿も多く、西山・洛西地域のさらなる魅力発信につながった。



#### 【役割／関わり方】

『「ええやん洛西」フォトコンテスト2021』に関わる調整・連携・助言

- 向日市、長岡京市などの近隣都市や交通局との連携に関する助言
- 「[U35-KYOTO](#)」等と連携した若者の参画に関わるコーディネート
- 広報物作成に関わる関係者との調整、広報協力

この事業を担当したアドバイザー 木村 響子

## 【伏見区役所】

### 伏見港パートナー制度の運営

#### 【事業概要】

令和3年4月に伏見港が国土交通省の「みなとオアシス」に登録されたことを受けて、今後の持続可能な賑わいづくりに向けた民間主体の活動を促進するために、伏見港パートナー制度を同年6月に創設しました。

伏見港や周辺地域のまちづくりへの想いをもった企業・団体・個人のみなさんによる、地域のにぎわいづくりに向けた主体的な取組、多くの方が連携した新しい展開が生まれるよう、企画・運営を行っています。



#### 【役割／関わり方】

ソフト面を中心に伏見港みなとオアシス全体に関わる区役所へのサポート

- イベントなどのソフト関連事業の企画運営に対するサポート
- 伏見港パートナー制度の運営、情報発信や企画面でのサポート
- パートナー交流会などの企画立案、運営、当日のファシリテーションなど

### 伏見区区民活動支援事業

#### 【事業概要】

令和3年度も、区民のみなさんによる主体的なまちづくり活動を支援する事業に多くの団体にご応募いただき、34団体への支援が決定しました。

活動団体相互の情報共有や意見交換のための交流の機会づくりとともに、応募を検討される段階や申請書類の作成の段階だけでなく、コロナ禍で活動内容の変更を余儀なくされた時など、さまざまな相談もお受けしています。そうした相談を通じて、活動内容をより充実させるための工夫、活動を継続していくためのポイントなどをお伝えしています。



#### 【役割／関わり方】

申請に当たっての相談対応、意見交換会の企画・司会進行

- 活動団体に対して、申請段階での活動内容や今後の継続性についてのアドバイス
- 活動団体相互の理解や共感を生み出すための、意見交換会の企画運営の検討

この事業を担当したアドバイザー 朝倉 眞一

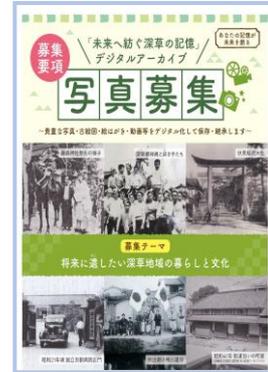
## 【伏見区深草支所】

### 深草地域の文化「保存・継承・創造」プロジェクト

#### 【事業概要】

この事業は、深草の「暮らしと文化」に関する古写真などの資料を収集してデジタルアーカイブし、アーカイブした資料を誰もがダウンロードできるホームページに掲載するなど、広く活用を促していきます。

事業の運営は、深草ゆかりの市民活動団体や大学の先生からなる実行委員会が担っていて、資料の収集や分類作業、資料を用いたガイドウォークやシンポジウムの開催など、深草の文化を次代に向けて「保存・継承」し、深草の未来の「創造」へとつなげていくことを目指しています。



#### 【役割／関わり方】

複数の主体（実行委員会形式）による事業の企画運営支援

- 事業全体の企画運営に関する助言
- 個々のイベントの企画運営に関する助言
- 実行委員会メンバーの作業支援

### 深草いいトコ体感プロジェクト

#### 【事業概要】

この事業では、深草の域内経済の循環と活性化を目的として、深草にある“いいトコ”に関連する情報を発信し、地域住民の（地域外の方も含む）利用を促していきます。

情報の発信に際しては、地元の民間事業者と連携協定を結び、事業者が運営する情報サイトを使って、行政では広報しづらい個店情報などを紹介しています。

この他にも、地元の商店街や事業者からなるチームを立ち上げて、チーム企画のイベントも開催しています。今年度は8月と12月の計2回、深草の飲食店に参加を呼び掛けて『テイクアウトマーケット』を開催しました。

民間事業者とお互いの得意分野で協力しあいながら事業を進めています。



#### 【役割／関わり方】

民間事業者との協働による事業の運営支援

- イベントの企画に関する助言
- イベントの運営支援

（※民間事業者との協働により、業務負荷は軽減される）

この事業を担当したアドバイザー 大塚 敏之

## 【伏見区醍醐支所】

### だいが de ワイワイ井戸端会議

#### 【事業概要】

醍醐いきいき市民活動センター（醍醐いきセン）が主催する「だいが de ワイワイ井戸端会議」にて、企画づくりへの助言、当日の司会を務めました。「井戸端会議」とは、醍醐で活動する住民同士が、自身の活動や思いを「井戸端で話すときのような」気軽な関係性でワイワイと語り合い、交流する場です。各種専門家や醍醐支所、近隣大学にも参加を呼びかけ、学生も参加しました。開催後も醍醐いきセンスタッフと協働し、参加者の思いが活動や連携に具体化する支援も行いました。



#### 【役割／関わり方】

参加者が自身の思いを表現しやすい環境づくりと、具体的な活動や連携への発展支援

- 企画・内容構成づくりでの助言
- 各種専門家・近隣大学への参加呼びかけ
- オンライン上の開催における司会・ファシリテート
- オンライン会議開催後の継続的な交流や活動創出支援

### 伏見区区民活動支援事業サポート

#### 【事業概要】

醍醐支所管内 2 つの市民活動団体から、伏見区区民活動支援事業を活用し、「コロナ禍で孤立しやすい方々を助ける活動をしたい」との相談を受け、活動の対象とアプローチ方法の具体化や、現状を踏まえた現実的な活動計画づくりをサポートしました。採択後は、活動で生じた諸課題の解決や、活動の社会的発信へのアドバイスを行いました。これらの支援を通じて、コロナ禍が生んだ新たなニーズに対してもアプローチできたほか、活動中に会った方々に上記の「井戸端会議」への参加を促すことで、新たなつながりの場を提供することが出来ました。



#### 【役割／関わり方】

区民による地域に根差した新たな活動の創出と展開支援

- 伏見区区民活動支援事業への申請志望者から寄せられる相談への対応
- 採択後の活動相談対応・サポート
- 採択者を他の活動者につなげるサポート

この事業を担当したアドバイザー 山田 大地

## 【地域コミュニティサポートセンター】

### 地域コミュニティ活性化ビジョンの推進

#### 【事業概要】

地域住民相互のつながりを基礎とする地域コミュニティでは、つながりの希薄化や地域活動への参加率の低下、地域活動に対する負担感の増加や担い手不足などが大きな課題となっており、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の停滞や縮小、住民の孤独や孤立が一層進むことが危惧されている。

令和4年1月に策定した「地域コミュニティ活性化ビジョン」では、社会状況が変化する中でも、住民一人一人が地域の一員として相互に多様な在り方を認め合い、つながり、支え合うことで、安心して快適に暮らせる地域社会を実現できるよう、取組を推進することとしている。



今後、本ビジョンに基づき、より効果的に施策を推進するため、通年業務（相談対応、事例収集、地域支援等）に加え、令和3年度は以下の事業を実施した。

#### (1) 令和3年度 京都市自治会・町内会アンケートの実施

京都市の地域コミュニティには、住民自治の精神が脈々と受け継がれていると言われていたが、地域コミュニティサポートセンターには、活動の継続が危ぶまれている相談が多く寄せられている。地域が置かれている状況に応じた支援を行うため、これまで把握してきた加入率や地域力だけでなく、地域活動の実態や工夫策を把握する項目を追加した。

#### (2) (仮称) 地域コミュニティを考える会の開催

社会背景の変化に伴い、これからの地域コミュニティ施策には、担当部署を超えた幅広い視点が必要である。このため、15名のまちづくりアドバイザーが企画運営し、地域自治推進室職員、区役所・支所職員、まちづくりアドバイザーが今後の施策等について議論する「(仮称) 地域コミュニティを考える会」を実施した。



#### (3) 地域コミュニティサポートセンター通信の創刊

地域コミュニティに関する事例や情報を様々な分野で参考にしていただくため、また、地域コミュニティ施策と各部署事業の関連性を高めるため、庁内の風土醸成や職員同士の相互交流を目的とした庁内広報誌を創刊した。地域コミュニティを考える会とあわせて、ビジョンの方向性を庁内で共通理解し、担当部署を超えた推進体制づくりにつなげる。

#### 【役割／関わり方】

- (1) 必要な情報を効果的に得るための調査項目や分析方法の提案など
- (2) 企画立案、各回の進捗確認、実施方法や課題の明確化など
- (3) 企画立案、各号の企画編集、取材先や執筆者との調整など

この事業を担当したアドバイザー 小林 明香